

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月13日

公表: 令和4年1月28日

事業所名 上代継在宅地域支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		<ul style="list-style-type: none"> ・現在は感染症対策で利用者、保護者、スタッフ総人数を確認して、制限を超えないようにしている。 ・1日の利用人数をみてスペースの確保を充分に行うことができた。 ・十分なスペースがあるので適度な距離をとりながら感染症の対策も行っていった。 ・登園する利用者さんの人数に合わせてスペースをとれるようにした 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな改善点はないので、今後も整理整頓を心掛けて適切に利用することができるように努める。
	2	職員の配置数は適切である	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・専属でいる職員以外にも、配置できる職員がいた為、良かった。 ・基本的には満たしている。 ・欠員が出た際は青年部より職員の応援をいただき、不足のないよう配慮した。 ・担当看護師が休みの時にも対応できるように伝達した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・急な休みになった時のフォロー体制が出来るとうい。 ・看護・支援ともに人員増が必要か。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・写真スケジュールを利用したり、余計な掲示物をなくすなどの環境配慮を行っている。 ・各利用者様ごとに使用する補装具等や設定の情報はスタッフに共有されている。 ・土足の部分と室内をテープで仕切ることにより、安全であることと、衛生面へも配慮している。 ・写真での掲示も多くわかりやすいマット上など整理整頓され、バリアフリーになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境は整っているのですが、口頭や書面での情報交換を引き続き行いながら、状況に合わせて柔軟に対応できるよう努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さん方の動きや活動内容に合わせてマット等の工夫を行っている。 ・清掃、整頓は毎日行っていて、わかりやすく構造化されている。 ・保育後には必ず清掃し、棚やおもちゃなどはアルコール消毒を行っている。 ・活動終了後は毎日掃除機と消毒を行っている。玩具は使用者専用として他児は使わないよう衛生面には配慮している。 ・保育後の消毒や流延での汚れにはすぐにアルコール消毒するよう心 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁紙が破れていて、不潔に見える。マットも交換を希望する。 ・マットが長年の汚れもあり、新しくしたい。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に関わるスタッフ全員で会議をもち、運営内容について話し合っている。 ・定期的に会議を設定している。 ・支援会議で定期的に話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育や利用者様の目標設定、改善の取り組みを実施している。運営、業務の見直しについては継続していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価アンケートに基づいて改善すべきことは行っている。 ・定期的な面談での意見などを聞き、改善できるよう、努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にご家族と面談を行い、頂いたご意見をもとに会議で検討して業務改善に繋げている。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月13日

公表: 令和4年1月28日

事業所名 上代継在宅地域支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している。 ・ホームページに公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの児童発達のパージまで行きつく方法がわかりづらい
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの内容を職員間で把握して業務改善に繋げている。 ・アンケートを踏まえて職員間で検討し改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価、利用者評価の掲示を引き続き行っていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・併用通園している保育園や他施設見学をし、連携を図ることが出来た。 ・コロナ禍で十分な研修ができなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の資質向上の為に、他施設への見学、勉強会等ができると思う。 ・職員は専門職で構成されている。各職域の情報は支援会議や運営会議でおこなっているが、各職域の研修をお互いに行う機会があってもいいと思う。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントで聞き取りしたニーズを担当間で共有して個別計画に反映させている。 ・定期的な面談での意見などを聞いた後に話し合いを持ち、支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々ご利用者、ご家族と情報交換を行いながらニーズや課題を見つけ、改善に結びつけていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールは使用していないが、保育、PT、OT、STそれぞれの専門分野ごとに評価している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・本人に必要な支援を検討し、実行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で内容を周知して、より具体的に効果的な支援が行えるように努める。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に会議を行いながら、個別支援計画に沿った支援を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りと評価を定期的に行い、より状況にあった支援を提供できるようにしていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当リハが入る曜日は担当リハに特化した内容が行えている。 ・担当間で話し合い、月の予定を決めている。 ・登園されるお子さんの情報交換後、姿勢など細かなところまで話し合い、活動内容を決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月週ごとなど、他リハスタッフの活動内容を伝達し、色々な活動を取り入れていきたい。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月13日

公表: 令和4年1月28日

事業所名 上代継在宅地域支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・通年で行う行事なども、お子さんの特性や日々の人数などを把握した上で工夫している。 ・行事や季節を取り入れた保育内容などマンネリ化しないように工夫している ・アイデアが多く固定化せず工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状況や環境的要因に配慮しながら、最適な活動プログラムが実行できるよう配慮する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・他児を意識した活動内容を取り入れて、活動内容に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での登園の場合でも、個別と集団での意識をしながらの活動展開を心がけていきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・前月に翌月の計画を建てて、当日朝に打ち合わせを行う。必要があれば随時確認、ミーティングを行っている。 ・その日に入る支援者全員で朝のミーティングを行い、健康面や伝達事項、支援内容の確認をしている。 ・活動内容・姿勢についての打ち合わせで1日の確認ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や状況が把握しやすいように、ホワイトボードなどを活用する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回リハ専門職ごとに保育と振り返りを行い、さらに運営会議で全体の振り返りと情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のうちに反省ができるとより、勉強になると思う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・記録の見返し、会議にて振り返り改善に努めることが出来ている。 ・日々の記録をして定期的な支援会議前にまとめることで、支援内容につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当会議で内容を把握して支援の検証、改善に努める。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの収集を行った後に各担当で内容を検討して判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有をよりスムーズに行えるよう記録や伝達方法を整えていく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者とご利用者に関わる各パート担当が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き参加しやすいように整えていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターや併用施設と情報交換を行っている。 ・情報共有・連絡は取れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの会議など感染症などの影響を受けにくい連携の取り方についても考えていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・併用している施設と情報交換を行った。 ・情報提供している 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの会議など感染症などの影響を受けにくい連携の取り方についても考えていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・診療所が併設されているので必要があれば連携をとっている。 ・母を通して受診結果を聞きながら、必要時には連携をとるよう心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体制については整備されていないので、情報共有が行いやすいように整えていきたい。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月13日

公表: 令和4年1月28日

事業所名 上代継在宅地域支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・地域の事業所を見学し、情報の共有に努めている。	・ご利用者、ご家族の要望に沿って情報共有が行えるよう努める。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・卒園児の引継ぎも担任の職員の方たちと直接行うことができた。また、今年度の支援学校での授業内容やクラス分け、授業風景なども見させて頂くことができ、今後入学希望の保護者様への参考となる情報を得ることができた。 ・就学の際は回数を重ねることで丁寧に支援内容の情報を共有し、理解を深めている。 ・就学に向けての面談など担当の先生と情報を共有している。	・今後も支援学校等への引継ぎや連携を図り、通園されている保護者様への情報提供を細かく行えると良い。 ・年長児に情報共有し対応できている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	・併用通園している保育園や他施設見学をし、お互いの役割を確認し合うことが出来た。 ・地域の事業所を見学し、情報の共有に努めている。	・機会は少ないが、今後益々他の自発併用の利用者が増えると思われるので連携を取っていかれたらと思う。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	・感染症拡大防止の観点から地域との交流は行うことができていない。 ・コロナ禍で機会がなかった	・コロナ禍で交流機会がなかった。 ・オンラインでの交流ができるように環境を整えていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		・ZOOMでの定例会に参加し、情報交換を行うことができた。	・引き続き継続していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・母子通所を基本としているのでコミュニケーションも多く取れることから共通理解をもって関わることができている。	・引き続きご利用者、保護者と日々情報交換を行い、悩みを共有し問題解決に向けて寄り添った支援を行っていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	・アンケートを取り、その中から防災の備えや姿勢についての勉強会を開催している。	・引き続きアンケートを行いながらニーズの高い勉強会を中心に行っていきたい。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・個別で対応させていただいた。	・引き続き不足がないよう丁寧に説明を行っていく。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		・面談時に報告と支援内容を説明させていただき同意を得ている。	・日々の保育の中から情報交換を行い、より状況にあった支援が行えるよう引き続き支援していく。	
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・日々の保育や定期的に行っている面談で情報交換を行い状況に応じた支援を行っている。	・引き続き情報交換を行い相談内容に応じた支援を行っていく。	

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月13日

公表: 令和4年1月28日

事業所名 上代継在宅地域支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		・政党のヒヤリングなどの予定がある際にはお子さんのお預かりなど対応を行い参加しやすいよう配慮している。	・保護者会で行われている内容について、周知しきれていない部分がある。面識も少ない為、参加しづらいなどの意見は聞いたことあり
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・ご利用者、ご家族から相談を受けた場合には職員間で周知し、適切な対応を行っている。	・引き続き報連相をしっかりと行い、受けた相談に対しては丸となって取り組み解決に繋げていきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・毎月「ちゅうりっぷだより」を発行して活動や伝達事項について周知していただいている。	・引き続き有益な情報を発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意して	7		・個人情報の取り扱いについては承諾書を取っている。	・引き続き個人情報が守られるよう管理していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		・手話や写真を提示するなど個性を考えながら意思の疎通を図っている。	・担当間で情報交換を行いながら意思の疎通をスムーズに行えるよう引き続き配慮していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	・オンラインでのウェブ祭りを開催し、交流を図ることができた。	・コロナ禍で交流機会がなかった。 ・感染症拡大防止の観点から地域との交流は行うことができなかった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	・定期的に訓練や勉強会を行うことで知識や理解を深めていった。	・職員周知と内容の更新を行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・定期的に訓練や勉強会を行うことで知識や理解を深めていった。	・年間でスケジュールが組んであるので引き続き行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		・受診後など情報を収集し、薬を含む治療法と発作の状況を把握するようにしている。	・引き続き情報交換を行いながら誤薬などないよう気をつけていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		・食物アレルギーがあれば、食事箋に明記して栄養科と連携し対応している。	・引き続き注意しながら進めていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・全体の会議で報告を行い、再発防止に努めている。	・引き続き会議で報告、検討して再発防止に努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・虐待防止委員会での研修と自己評価シートを活用している。	・勉強会などでも取り入れ、気の緩みがないように継続して行っていきたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		・対象者が出た場合の準備はできている。	・対象者が出た場合の手順については職員間で周知できるようにしていきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。